

報道関係各位

2016年8月19日
成城大学

本学学生に東京消防庁消防総監から感謝状が贈られました

成城大学（東京都世田谷区 学長：戸部 順一）は、2016年8月10日（水）に本学経済学部2年の金子隼也さんに成城消防署において消防総監感謝状が贈られましたことのお知らせ致します。

金子さんは、2016年8月6日（土）18時20分頃、世田谷区立総合運動場内陸上競技場にて、心肺停止の女子高校生（18歳）に救命措置を行いました。金子さんが陸上競技場で練習中に競技場トラック内の人だかりに気がついて駆け付けてみると、駅伝の練習をしていた女子高校生が倒れ、高校の学校関係者が心臓マッサージを実施していました。金子さんは速やかにそばにあったAED（自動体外式除細動器）を女子高校生に装着し、除細動を1回実施しました。その後、学校関係者と交代して心臓マッサージを継続し続けたのち、女子高校生は現場において呼吸、脈、及び意識が回復しました。

金子さんは、成城学園高校時に自由選択科目である“ライフセービング”の授業において日本ライフセービング協会公認「CPRライフセイバー」の資格を取得しており、その知識を活かして今回の蘇生に至りました。



成城消防署長（東京消防庁消防総監 贈呈者代理）
から感謝状を受け取る金子さん
（金子さんは陸上部の練習を抜けて参加しました）



左：成城消防署長 佐藤 敦氏
右：金子隼也さん

【金子隼也さんのコメント】

女性の状態を見て、呼吸ができていないと判断しました。咄嗟でしたが、冷静に行動することができました。自分を誇らしく思います。高校時代に1年間、ライフセービングの授業を受けていた時、AEDのことも学んだことが良かったです。女性が助かって元気になったと聞いて、本当に良かったです。